

1 1年次の調査研究の概要 ※詳細は三河小中学校長会のホームページに掲載

(1) 校長研修会

① 令和3年6月8日（火）オンライン研修

講師 愛知県教育委員会教職員課 課長補佐 齋藤慎吾氏

「当面する諸課題について」

② 令和3年8月3日（火）岡崎市シビックセンター

講師 尾張小中学校長会副会長 春日井市立東部中学校長 浅野薫史氏

「尾張地区の働き方改革 ～働き方改革？働かせ改革？～」

③ 令和3年10月12日（火）蒲郡荘

講師 名古屋小中学校長会会長 名古屋市立東桜小学校長 新井宏法氏

「人を育て、人に育てられる」

④ 令和3年11月9日（火）蒲郡荘

講師 豊橋市教育委員会教育長 山西正泰氏

「判断は頭 決断は肚」

(2) 先進地区・先進校視察

① 令和3年8月27日（金）豊田市立堤小学校

学校の働き方改革実施サポート事業を終えて

ー「働き方改革」のその先に「児童の笑顔」があるように

② 令和3年8月27日（金）豊田市立東保見小学校

コロナ時代における働き方改革の取組と課題

ーNPOとの連携による学校の働き方改革サポート事業についてー

③ 令和3年9月24日（金）春日井市立高森台中学校

GIGAスクール環境を活用した学び

ー愛知県春日井市での実践からー

④ 令和3年10月19日（火）三重県松阪市立鎌田中学校

中学校兼公民館におけるコミュニティ・スクールのあり方

ー三重館松阪市立鎌田中学校の実践からー

⑤ 令和3年10月25日（月）名古屋市立矢田小学校

学校の働き方改革

ーw e l l - b e i n g みんなで実現しませんか？ー

⑥ 令和3年12月27日（月）京都府京都市立葵小学校

対話する学校 ー『業務効率を高め教育の質を上げ隊』の

対話型マネジメントによる省内的実践ー

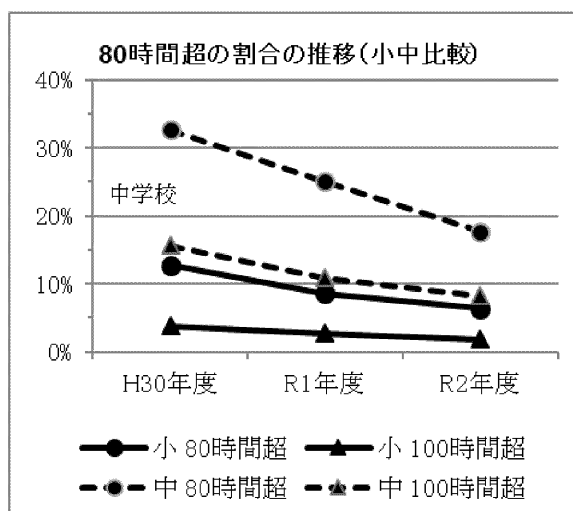
(3) 在校時間の比較検討と分析（抜粋）※詳細は三河小中学校長会HPに掲載

① 11月の在校時間の経年変化についての分析

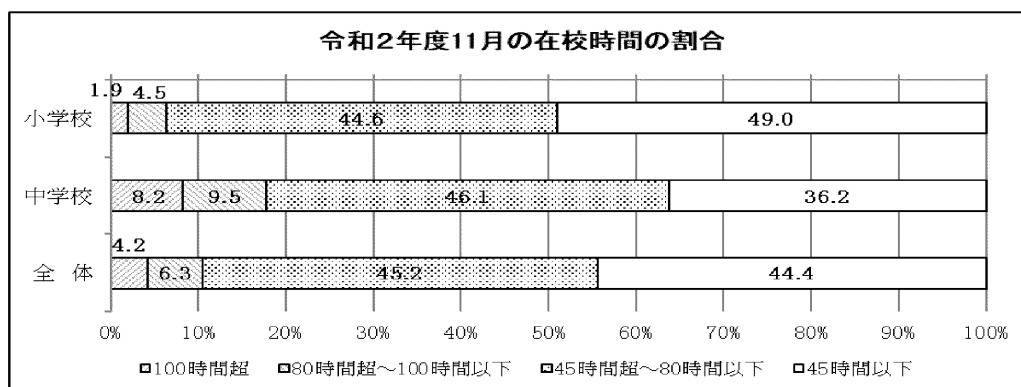
- ・小中学校とも年度を経るごとに勤務時間外の在校時間が減っている。
- ・平成30年度から令和元年度は大きく下がっているが、令和元年度から令和2年度の下がり方が緩やかになる傾向がある。
- ・中学校の100時間超の割合については、平成30年度から令和元年度は大きく下がったが、令和元年度から令和2年度は下がり方が緩やかになる傾向があり、できる限りの業務の削減を行っても在校時間を削減できない教職員が一定数はいることが分かる。
- ・令和2年度はコロナ禍の影響がどう表れているのか判断できない。

80時間超の割合

	H30年度	R1年度	R2年度
小 80時間超	12.77%	8.54%	6.38%
小 100時間超	3.80%	2.70%	1.88%
中 80時間超	32.62%	25.06%	17.71%
中 100時間超	15.62%	10.86%	8.20%



② 令和2年度の11月の在校時間についての分析

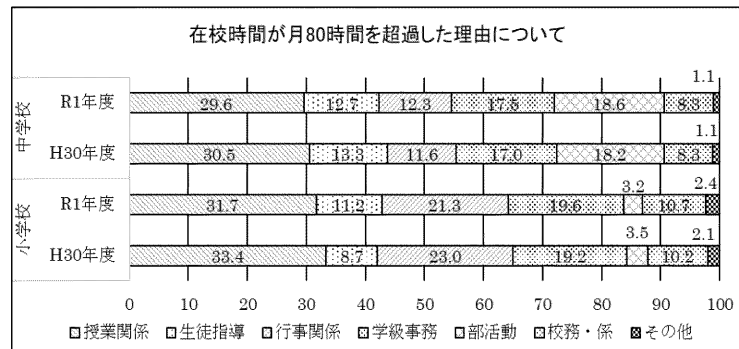


- ・小中学校とも半数以上が45時間超となっている。
- ・45時間超80時間以下の割合は、小学校と中学校で大きな違いはない。
- ・小中の間には80時間超の割合に差がある。
- ・中学校の80時間超の割合は小学校の2.8倍、100時間超の割合は4.4倍となっており、この3年間でもその割合は大きくは変わっていない。

- ・ 11月には下校時刻が早くなり部活動による影響が少なくなっていると思われるために、小学校と中学校の違いの原因は部活動が主であるとは考えにくい。
- ・若手教職員にこそ働き方改革の意識をもってもらうよう、より一層働きかけていく必要がある。

③ 11月の在校時間80時間超の理由についての分析

- ・理由ごとの割合は、小学校も中学校も年度による大きな変化はない。
- ・平成30年度も令和元年度も、小・中学校とも授業関係が理由の1位となっており、挙げられた理由全体の3割を占める。
- ・2位以下の理由は小学校と中学校では異なり、中学校では部活動を理由として挙げる割合が小学校と比べ大きくなっている。
- ・小学校では部活動の負担が少ない分、中学校に比べ行事関係の負担感が大きくなっている。



- ・授業関係 : 教材研究・準備、点検・採点・成績処理等
- ・生徒指導 : 生徒・保護者対応、関係機関連携等
- ・行事関係 : 行事資料作成・準備等
- ・学級事務 : 学級事務・学年事務
- ・部活動 : 部活動(クラブ活動)
- ・校務・係 : 上記以外の校務分掌・係の仕事

(4) 各郡市・校長へのアンケート実施

- ・令和4年2月1日(火)～令和4年2月15日(火)にかけて、各郡市代表と全校長にwebアンケートを実施
- ・467校より回答
- ・結果の分析は令和4年度の学力量向上特別委員会で行う。

三河小中学校長会HPに設置されたアンケート

三河小中学校長会

ホーム TOP 三河小中学校長会概要 資料 会員登録

令和3年度学力量向上特別委員会アンケート

1 学校名と県の学校コード(5桁の番号)をご記入ください。
学校名は「〇〇市立〇〇小学校」のようにお願いします。
(例: 学校名: 岡崎市立額田小学校 コード: 00521)

学校名: 学校コード:

次からのアンケートは、回答者が「郡市代表の校長先生」と「すべての学校の校長先生」に分かれています。1は郡市代表の先生のみお答えください。郡市代表ではない校長先生は、2学校長用アンケートへお進みください。

郡市代表用アンケート
学校長用アンケート

1 郡市代表用アンケート

1 働き方改革にかかわる貴郡市の取組についてお聞かせください。

(1) 下記の項目について、これまで貴郡市で統一して取り組まれた様子、効果等、ご回答が一つ選んでください。

ア、教職員の在校時間の客観的把握

☐ とても効果があった ☐ ある程度効果があった ☐ あまり効果があった ☐ 実施していない

集計中のアンケート結果の一部

1 働き方改革にかかわる貴校での取組についてお伺いします。

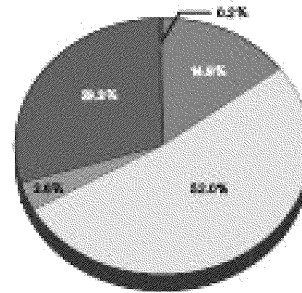
☐ とても効果があった ☐ ある程度効果があった ☐ あまり効果がなかった
☐ 実施していない ☐ 無回答

(1) 下記の項目について、貴校で取り組まれた様子・効果を選択肢から一つ選んでください。

① 日課、勤務時間等に関する項目

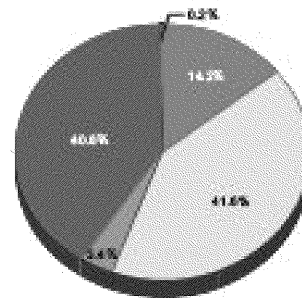
ア 日課の変更（特別日課の設定を含む）

回答	回答数(件)	割合(%)
とても効果があった	70	14.9%
ある程度効果があった	245	52.0%
あまり効果がなかった	37	3.6%
実施していない	138	29.3%
無回答	1	0.2%



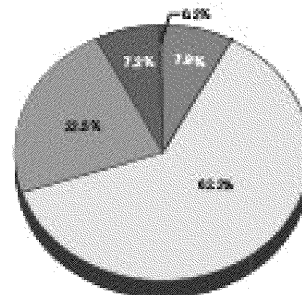
イ 児童生徒の登下校時刻の見直し

回答	回答数(件)	割合(%)
とても効果があった	67	14.2%
ある程度効果があった	196	41.6%
あまり効果がなかった	16	3.4%
実施していない	191	40.6%
無回答	1	0.2%



ウ 一斉退校日、定時退校日、退校日曜時刻、業務推進日等の設定

回答	回答数(件)	割合(%)
とても効果があった	37	7.9%
ある程度効果があった	293	62.2%
あまり効果がなかった	106	22.5%
実施していない	34	7.2%
無回答	1	0.2%



2 研究2年次の計画

(1) 令和3年度11月調査を含む在校時間調査の分析

平成30年度から令和2年度までの在校時間調査に、令和3年度の在校時間調査の結果を加え、コロナ禍での教職員の働き方の様子を分析する。

(2) アンケート結果の分析

2月に実施するアンケート結果を分析し、働き方改革への効果的な取組や各学校が抱える課題を明らかにする。

(3) 各郡市・各学校の働き方改革への取組状況や課題の報告

(4) 調査報告書の作成、配付